

湯沢雄勝広域市町村圏組合財務会計システム更新事業仕様書

1 事業名 財務会計システム更新事業

2 目的

平成17年度に導入した現行の財務会計システムパッケージの保守期間が令和3年度上期に終了するため、新たな財務会計システム（以下、「新財務会計システム」という。）パッケージを選定し、更新するものである。

3 事業実施期間 契約締結の日から令和2年10月30日まで

4 現行システム

- (1) 初期導入時期 平成18年3月
- (2) 製品名 財務-WINR Version 4.0
- (3) システム構成 C/S・Web併用
(サーバは統合業務システムサーバの仮想マシン上に構築)
- (4) クライアント数 当組合庁内情報ネットワークに接続したPC25台
- (5) 主要機能
 - ・予算編成 ・予算執行 ・決算管理 ・決算統計 ・起債管理
 - ・源泉徴収所得税管理 ・人事給与システム連携 ・公会計システム連携

5 基本要件

- (1) 新財務会計システムは、次の機能を有するものとし、詳細は別紙「財務会計システム機能要件書」に定める。
 - ・予算編成 ・予算執行 ・決算管理 ・決算統計 ・起債管理
 - ・源泉徴収所得税管理 ・人事給与システム連携 ・公会計システム連携
- (2) クライアントPC (Windows 10 Pro) にソフトウェアのインストールが不要なWebシステムとする。ただし、Microsoft Excel及びAdobe Acrobat Readerについては、クライアントPCへのインストールを前提としてよい。
- (3) 新財務会計システムパッケージについては、導入から少なくとも10年間の利用ができるものとする。
- (4) サーバは、当組合庁内情報ネットワークに接続した既存の統合業務システムサーバに構築するものとする。
- (5) クライアントは、当組合庁内情報ネットワークに接続した既存のPC (Windows 10 Pro) 25台とする。
- (6) 新財務会計システムは、令和3年度当初予算編成から利用することとし、各種マスタ、前年度予算データ等は現行の財務会計システムから移行するものとする。

6 システム構成

(1) サーバ

新財務会計システムのサーバは、既存の統合業務システムサーバ上の仮想オペレーティングシステム環境に構築することとする。

統合業務システムサーバ仕様

- NEC製Express5800/R120h-1E 8x 2.5型モデル (型式N8100-2602Y)
- CPU：インテルXeonプロセッサGold 5118
(12コア/24スレッド/動作周波数2.30GHz/L3キャッシュ16.50MB)
- メモリ：24GB (8GBx3)
- ストレージ：HDD 1,800GB (600GBx3) RAID5 (実効容量1,200GB)
- OS：Windows Server 2016 Standard
- 仮想化システム：Hyper-V 10.0

ア データベースサーバ、アプリケーションサーバ、Webサーバ等、新財務会計システムを構成する各サーバは、単一の仮想オペレーティングシステム環境に構築するものとする。

イ 新財務会計システムを構築する仮想オペレーティングシステム環境は、統合業務システムサーバ納入業者と十分に協議の上、本事業契約事業者が構築するものとする。

ウ 新財務会計システムを構築する仮想オペレーティングシステムは、Windows Server 2019 Standard又はこれに付随したダウングレード権の行使により使用できるものを想定しており、必要なコアライセンスを当組合が別に調達している。クライアントアクセスライセンス (デバイスCALを想定) については、本事業において調達するものとする。

エ 新財務会計システムを構築する仮想オペレーティングシステムに割り当てることのできるリソースは、次のとおりである。

- CPU：8スレッド
- メモリ：4～8GB
- ストレージ：150GB (バックアップに使用するストレージについては、十分な容量を当組合が別に調達している。)

(2) クライアント (25台)

クライアントPC仕様 (最も台数の多い代表的なもの)

- 富士通製LIFEBOOK A359/BX
- CPU：インテルCeleronプロセッサ3965U
(2コア/2スレッド/動作周波数2.20GHz/L3キャッシュ2MB)
- メモリ：4GB
- ストレージ：HDD 500GB

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ディスプレイ解像度：1366x768ドット・OS：Windows 10 Pro (64bit)・Webブラウザ：Internet Explorer 11/Microsoft Edge
(いずれも動作するが、Internet Explorer 11の利用が望ましい。)・アプリケーション：Microsoft Word/Excel 2019・Adobe Acrobat Reader DC |
|--|

※ クライアントPCへの展開（ショートカットの作成及びWebブラウザのオプション設定を想定）は、当組合が行うこととする。

7 データ移行

現行の財務会計システムから移行するデータは、次のとおりとする。

- (1) 共通
 - ・会計情報 ・歳入科目情報 ・歳出科目情報 ・債権債務者情報 ・金融機関情報
- (2) 予算・決算関係
 - ・令和2年度予算情報 ・令和元年度決算情報
- (3) 起債管理
 - ・起債台帳

現行の財務会計システムからのデータ抽出及びデータの解析に必要な資料の作成は、当組合が現行の財務会計システム納入業者に別に委託する。

8 操作指導

財務・会計担当者に対する操作指導を行うこととする。

操作指導の場所及び受講者のクライアントPCは当組合が準備し、実施日程は協議の上決定する。

9 保守及び運用支援

本事業には、令和2年度における次の業務を含むものとする。

- (1) 予防保守 オペレーティングシステム及びミドルウェアを含むシステムの正常な運転状態を維持するための点検、調整
- (2) 不具合の修正 システムに不具合を生じた場合の修正
- (3) システムの軽微な変更 システムの軽微な変更で、新たにオプション製品の購入が必要な場合を除くもの。
- (4) 運用支援業務 オペレーティングシステム及びミドルウェアを含むシステムの運用に関する電話、E-Mail、訪問等による支援

なお、本事業に含まない、令和3年度以降の保守及び運用支援についても、上記と同等とする。

10 納入物品

サーバに構築された財務会計システムパッケージ及び関連ソフトウェアのほか、次を納品すること。

(1) 作業計画書

作業スケジュール、実施体制、テスト項目、その他当組合担当者と協議し必要な事項を明記したもの。

(2) 操作者向けマニュアル（電子媒体）

(3) 管理者向けマニュアル（電子媒体）

(4) その他必要とする資料